

令和元年 7月 30日  
記者発表

## 令和元年度わがまち元気プロジェクト決定！

### 海南市 「紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築」プロジェクト

和歌山県では、地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりに取り組む市町村に対し、「わがまち元気プロジェクト」事業を平成21年度から実施しています。

これは、市町村が「わがまち」固有の資源を核として、地域活性化、地域産業につながるプロジェクト計画を策定し、県が3年間にわたり総合的に支援するものです。

今回、海南市が伝統工芸品である紀州漆器を核とし、黒江を訪れたくなるようなコンテンツ開発や漆器産業の後継者育成に取り組む「紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築」プロジェクトを実施します。

プロジェクト名	「紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築」プロジェクト
事業実施主体	紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築協議会
全体事業費	83,680千円 (うち わがまち元気プロジェクト支援補助金 5,000千円)
プロジェクト内容	別紙のとおり

#### 【参考】これまでのわがまち元気プロジェクト 取組一覧

年度	H										計
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
プロジェクト数	6	3	1	1	1	3	2	2	1	1	21

※今回の海南市を含めると22件となります。

担当	企画部 地域政策課 地域支援班 神浪(かじり)・竹中 TEL : 073-441-2371
----	--

# 紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築

【事業主体】 紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築協議会

【全体事業費】 83,680千円（うち元氣プロジェクト5,000千円）

【目的】 海南市が誇る伝統工芸品「紀州漆器」の魅力を情報発信し、併せて産地である黒江地区の魅力を紹介するツールの開発や、来訪者が漆器と共に過ごせるゲストハウスの整備を行い、漆器産業の後継者育成と紀州漆器の新たな販路開拓及び黒江地区への交流人口増加を図る。

【3つの柱による取組】

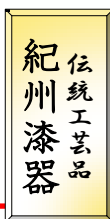
## (1) 漆器産業の後継者育成と販路開拓 【31,800千円(うち元プロ0千円)】

### ① 町ぐるみで取り組む漆器職人の育成

- ・ 伝統工芸士による伝統技術の継承を体制的にバックアップし、後継者育成
- ・ 後継者が廃れた木地職人について、他産地の講師を招へいし技術を習得
- ・ 大都市圏での移住・定住フェアに参加し、後継者となる移住・定住者を募集

### ② 紀州漆器を世界に発信

- ・ SNSを活用し、商品や展示品、漆器の魅力やイベントなどを発信
- ・ 紀州漆器や黒江の歴史などを紹介する日文・英文冊子やPR動画を活用し、国内外にむけて情報発信



## (2) 「行ってみたい町、黒江」の創造 【29,750千円(うち元プロ2,870千円)】

### ① 漆器の町・黒江を知る、楽しむコンテンツの充実

- ・ イベント：紀州漆器まつり、下駄市、黒江めった祭り、こみちあるき
- ・ 体験：蒔絵、根来塗研ぎ出し、下駄づくり、着物で町歩き
- ・ セミナー：黒江の歴史・文化・芸術を伝える小勉強会
- ・ おもてなし：語り部によるまちなか案内、観光アプリの提供、地元自治会による無料休憩所の設置や壺焼き芋の販売など

### ② 漆器の町・黒江にちなんだ土産の開発・販売

- ・ 地元事業者と協力し、漆器をイメージさせるスイーツや、飲食後に持ち帰れる器やカトラリーなど黒江にちなんだ土産品を開発・販売
- ・ 土産としてだけでなく、ふるさと納税返礼品等様々な販路を開拓

## (3) 漆器と共に過ごすゲストハウスの整備 【22,130千円(うち元プロ2,130千円)】

### ① 古民家を活用した「漆器を身近に感じる」ゲストハウス作り

- ・ 漆器の器で提供する地元食材を利用した料理や、漆アートをちりばめた装飾など、漆器の魅力を感じながら過ごせるゲストハウスの整備、運営

### ② 黒江の町を再生するためのリノベーションワークショップ開催

- ・ 黒江地区内の空き家を活用したゲストハウスや店舗を増やすため空家再生リノベーションワークショップを開催
- ・ 継続的なリノベーションワークショップ開催に向け、受講者が講師となって活躍できる体制の構築

【目標】

	H30年度	→	R3年度
紀州漆器伝統産業会館来館者数	16,728人	→	20,000人
新商品(漆器、スイーツ)開発	0商品	→	3商品
ゲストハウス宿泊者数	0人	→	4,200人

